

「kubi」を使ってオンライン交流しました

4年5組では、9月6・7・8日に明智小学校と国語の授業でアバターロボット「kubi」を使ったオンラインによる居住地校交流を行いました。明智小学校の教室に「kubi」とタブレットを設置し、当校からはタブレットのカメラを通して明智小学校の授業に参加しました。

国語の「忘れもの」では、本文の詩を読みながらお気に入りのポイントを見付けました。自分の意見を明智小の友達と話して交流したり、発表を聞いていろいろな意見に触れたりして、一緒に学ぶことができました。休み時間には、カメラを通して明智小の友達と話をしました。最初は緊張している様子でしたが、だんだんと慣れ、笑顔で話したり、好きなキャラクターの絵を見せてアピールしたりしました。

通常のオンライン交流では固定カメラですが、「kubi」を遠隔操作し、カメラの向きを変えることで、発表者の顔を見て話を聞いたり、見たい方に注目して友達と話したり、同じ活動を楽しむことができました。

国語の授業で友達が話したことをメモしています。



給食も一緒に「いただきます」をして食べました！



アバターロボット「kubi」の活用について

「kubi」はカメラを使って遠隔地とのコミュニケーションをすることができる iPresence 社のアバターロボットで、左右 300 度、上下 90 度動かせます。当校では今年度、ニューメディア開発協会と岐阜聖徳学園大学による「アバター学校生活参加支援」により、アバターロボット「kubi」をお借りして交流学習等に活用しました。